



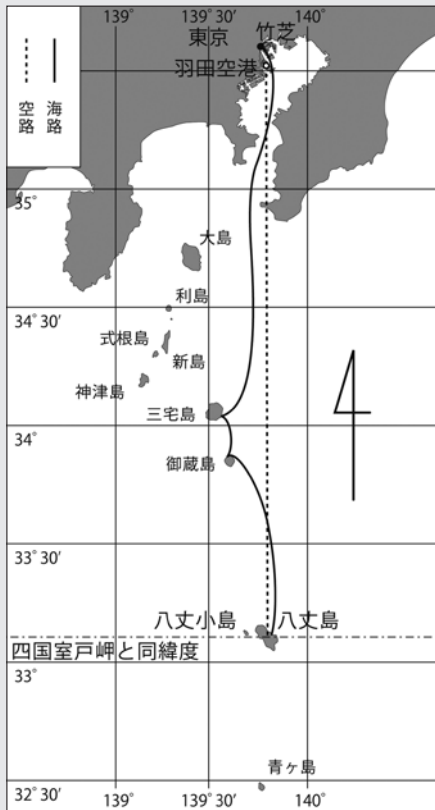
はちじょう 2015

東京都八丈町勢要覧 HACHIJO 2015

資料編



■八丈島の位置



■地勢

地名	区分	面積 (km ²)	周囲 (km)	位置		東京からの距離 (km)	緯度比較
				北緯	東経		
八丈島		69.09	58.91	33° 03'~ 33° 09'	139° 44'~ 139° 52'	287	高知県 室戸岬
八丈小島		3.07	8.70	33° 07'	139° 41'		
計		72.16	67.61	-	-		

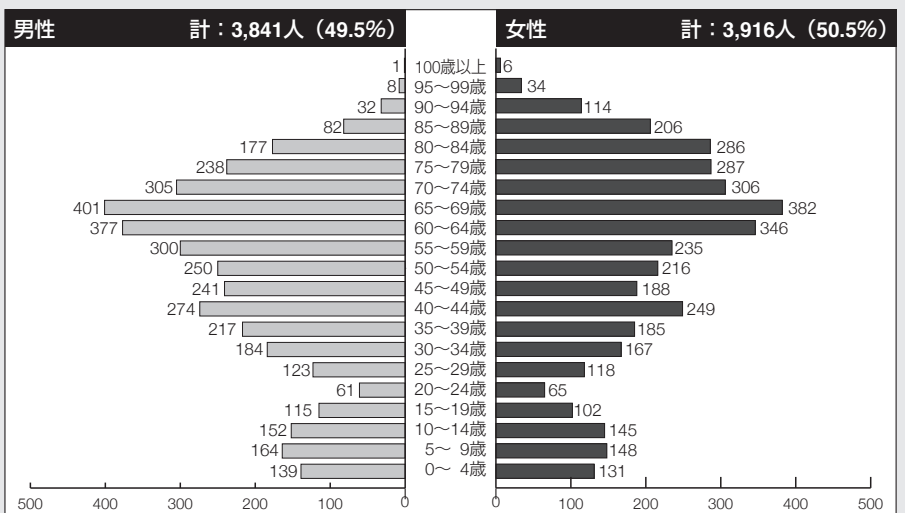
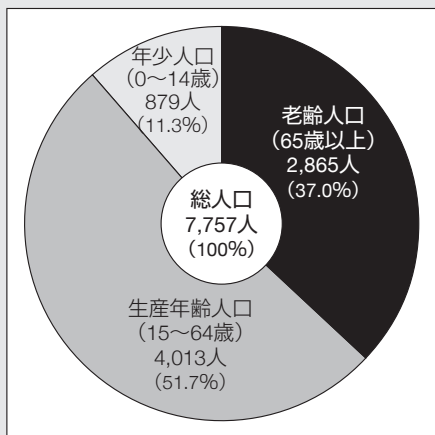
※面積：平成26年全国都道府県市区町村別面積調「島面積」（国土地理院）

■気象概況

主要気象	八丈島	東京	小笠原・父島	備考
年平均気温 (°C)	17.8	16.3	23.2	那覇 23.1
最寒月平均気温 (°C)	1月 10.1	1月 6.1	2月 17.9	那覇 17.0
日最高気温の最暖月平均値 (°C)	8月 29.3	8月 31.1	7月 30.0	大阪 33.4
日最低気温の最寒月平均値 (°C)	1,2月 7.5	1月 2.5	2月 15.3	
年降水量 (mm)	3,202.4	1,528.8	1,292.5	屋久島 4477.2 尾鷲 3848.8
年日照時間 (時間)	1,398.5	1,881.3	2,038.5	潮岬 2201.2 山形新庄 1320.0
年平均湿度 (%)	80	62	77	軽井沢 80
年強風日数 (10m/s以上)	134.3	22.1	24.5	室戸岬 253.7
年強風日数 (15m/s以上)	22.4	0.4	2.3	室戸岬 108.2

(注) ①1981~2010年の30年間の平均
 ②八丈島測候所：北緯 33°06' 東経 139°47' 標高 79.2m
 ③年強風日数において、10m/s以上の日数は15m/s以上の日数を含む。

■年齢別人口構成 (平成27年4月1日)

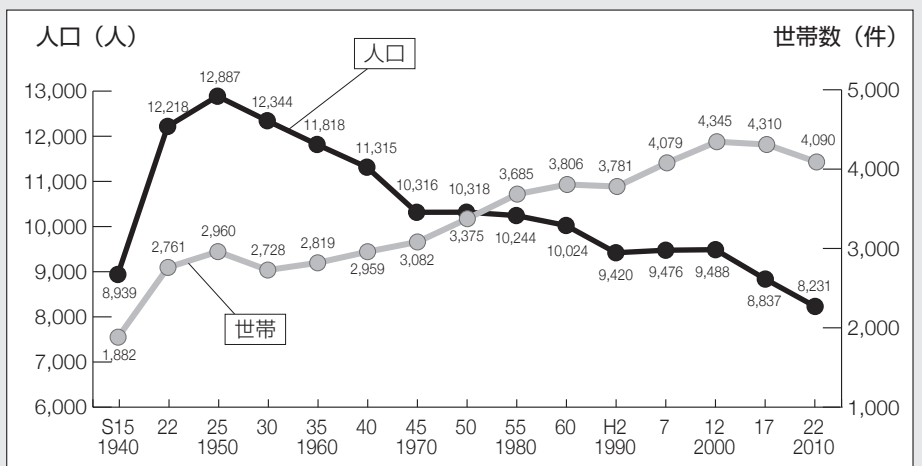


■地域別世帯数と人口 (平成27年3月31日)

地域	世帯数(世帯)	人口(人)
三根	2,042	3,617
大賀郷	1,482	2,564
檜立	286	518
中之郷	387	724
末吉	207	334
計	4,404	7,757

八丈島における外国人登録者数 103人

■人口・世帯数の推移 (平成22年国勢調査)

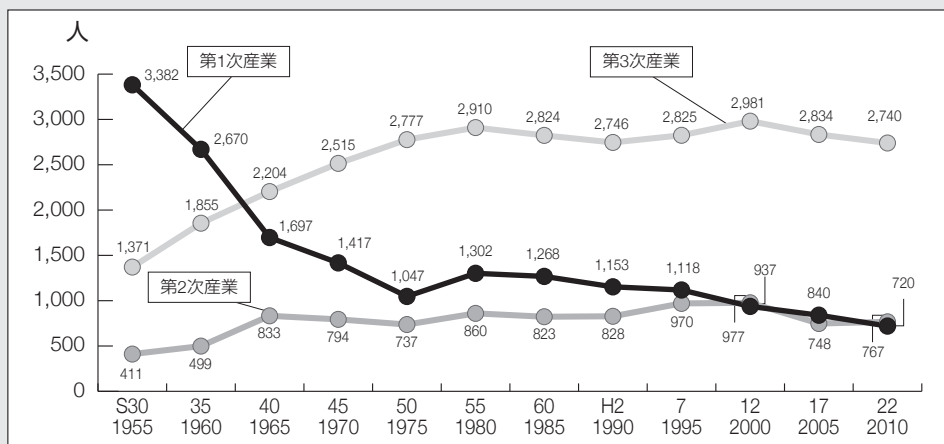


■産業別就業者数（平成22年国勢調査）

就業者数：4,231人 15歳以上人口：7,272人 労働力人口：4,407人

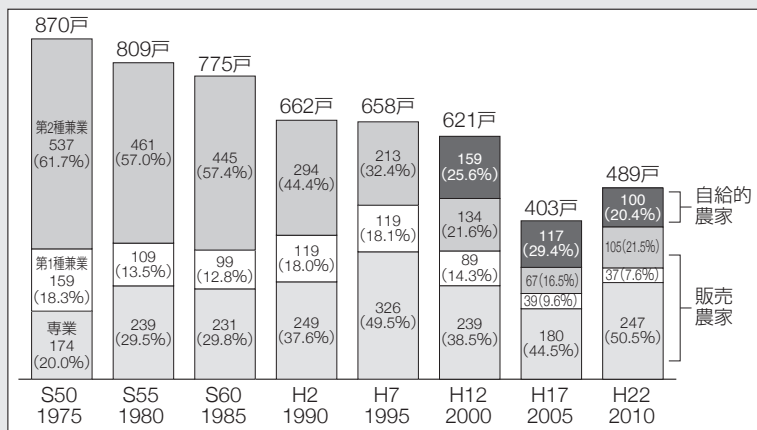
第1次産業 720人 (17.0%)	第2次産業 767人 (18.1%)	第3次産業 2740人 (64.8%)						
農業 602人 (14.2%)	建設業 621人 (14.7%)	運輸業・郵便業 212人 (5.0%)	卸売業・小売業 473人 (11.2%)	宿泊・飲食サービス業 441人 (10.4%)	教育・学習支援業 223人 (5.3%)	医療・福祉 394人 (9.3%)	サービス業 (他に分類されないもの) 266人 (6.3%)	公務 (他に分類されるものを除く) 318人 (7.5%)
漁業 115人(2.7%)	林業 3人(0.1%)	製造業 146人(3.5%)	電気・ガス・熱供給・水道業 29人(0.7%)	情報通信業 20人(0.5%)	生活関連サービス・娯楽業 145人(3.4%)	学術研究・専門・技術サービス業 68人(1.6%)	不動産・物品賃貸業 35人(0.8%)	金融・保険業 27人(0.6%)
					複合サービス業 89人(2.1%)	分類不能の産業 4人(0.1%)		

■産業別就業者の推移（平成22年国勢調査）

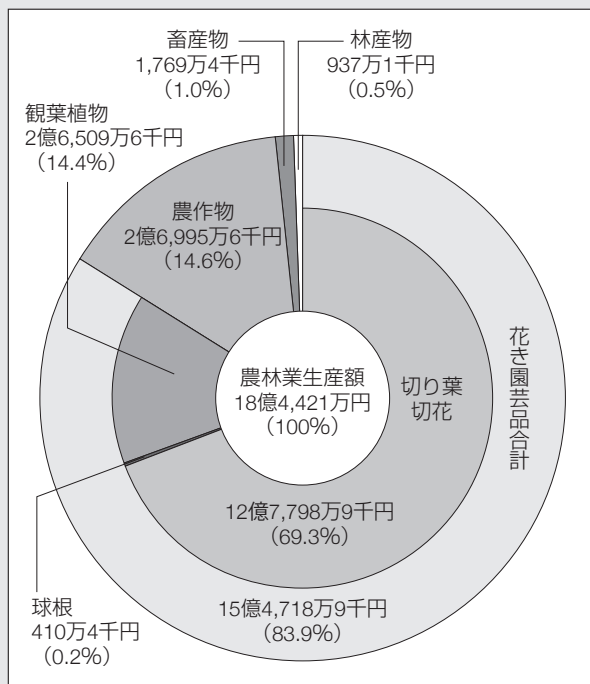


農業 AGRICULTURE

■農家数の推移（農林業センサス）



■農林業生産額（平成26年1月～12月）



■経営耕地・作物別作付面積（平成27年1月1日）

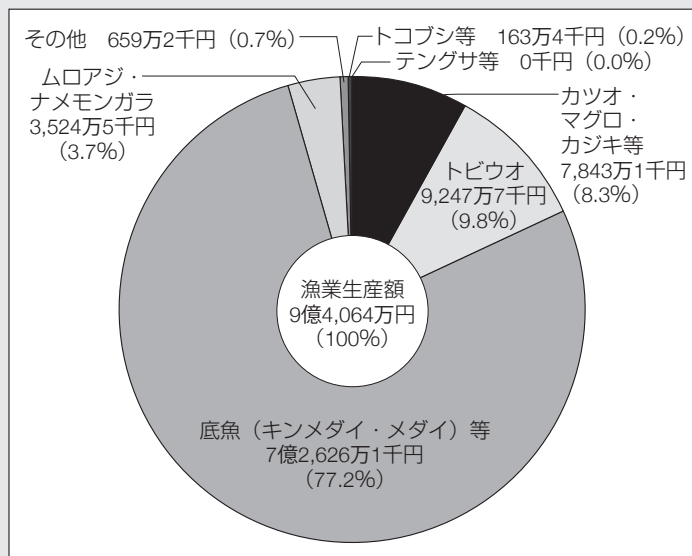
作物	面積 (ha)	割合 (%)	分類
フェニックス・ロベリニー	205	60.0%	花き園芸
ストレッチア	9	2.7%	
球根類	1	0.3%	
その他の花き	31	9.1%	
あしたば	35	10.2%	その他農作物
野菜・イモ	45	13.1%	
飼料作物	16	4.6%	
計	342	100%	

漁業 FISHERY

■種類別漁獲高 (平成26年1月～12月)

	漁獲量	金額	平均単価	金額比率
トビウオ (流刺網・流まき網)	260,724kg	9,247万7千円	355円	9.8%
ムロアジ・ ナメモンガラ (棒受網)	128,986kg	3,524万5千円	273円	3.7%
カツオ マグロ カジキ等 (曳縄)	86,875kg	7,843万1千円	903円	8.3%
底魚等 (一本釣)	578,422kg	7億2,626万1千円	1,256円	77.2%
テングサ等 (潜水)	0kg	0円	0円	0.0%
トコブシ等 (潜水)	380kg	163万4千円	4,300円	0.2%
その他	4,689kg	659万2千円	1,406円	0.7%
合計	1,060,076kg	9億4,064万円	887円	100%

■漁業生産額 (平成26年1月～12月)



■漁港の状況 (平成27年4月1日)

区分	種別	指定日	管理者	対象船舶	漁港施設
神湊漁港	第4種	昭26.7.10	東京都	20t	防波堤 613m 照明施設一式 岸壁 1,000m 船揚場 4,284㎡
八重根漁港	第4種	昭26.7.10	東京都	20t	防波堤 685m 照明施設一式 岸壁 752m 船揚場 4,455㎡
中之郷漁港	第1種	昭27.6.23	東京都	20t	防波堤 251m 照明施設一式 岸壁 105m 船揚場 3,748㎡
洞輪沢漁港	第1種	昭27.6.23	東京都	20t	防波堤 577m 照明施設一式 岸壁 229m 船揚場 3,315㎡

■魚種別漁獲量順位 (平成26年1月～12月)

順位	種名	漁獲量 (kg)
1	キンメダイ	426,715
2	トビウオ類	260,724
3	ムロアジ	123,311
4	メダイ	87,835
5	カツオ類	44,343
6	マグロ類	30,132
7	アオダイ	22,460
8	ハマダイ	10,700
9	チビキ	5,942
10	ナメモンガラ	5,675

■漁船数 (平成26年12月31日)

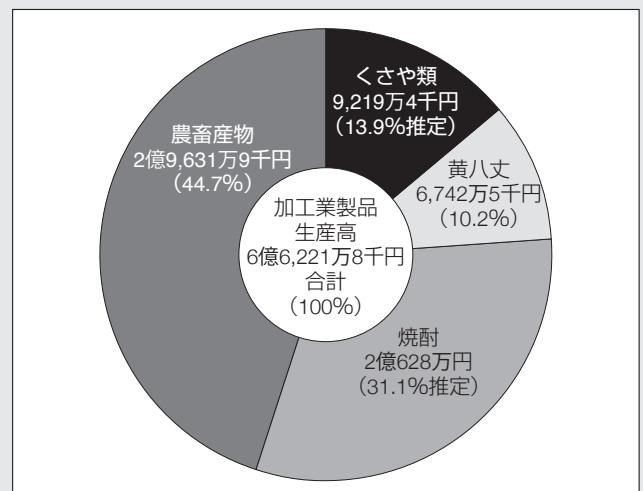
3トン未満	46隻
3トン～10トン未満	69隻
10トン～20トン未満	16隻
20トン以上	0隻
合計	131隻

※官公庁船を除く

商業

COMMERCE & MANUFACTURING INDUSTRY

■加工業製品生産調べ (平成26年1月～12月)



観光 SIGHTSEEING

■主な行事（平成26年）

パブリックロードレース	1月
フリージアまつり	3月～4月
夏まつり	7月
八丈ジュニアベースボールクラシック（少年野球大会）	7月
浜遊び	8月
納涼花火大会	8月
RAINBOW CUP 2014（フットサル大会）	9月
ユニバーサルキャンプ	9月
タコスカップ（サーフィン大会）	9月
24時間チャレンジ八丈太鼓	10月
八丈島ひょうたんライド（サイクルツーリング）	10月
夢伝（ウォーキング・マラソン大会）	11月

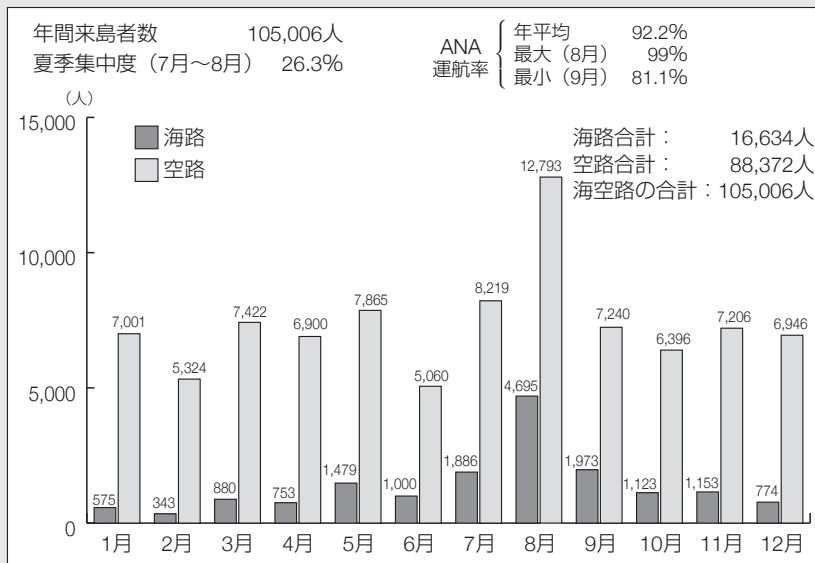
■宿泊施設（平成27年1月）

（休業中は含まず）

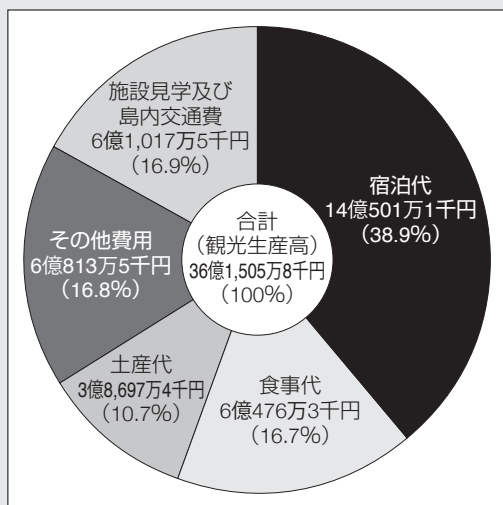
区分 地域	ホテル・旅館		民宿・ペンション		合計		キャンプ場	
	軒数	登録定員	軒数	登録定員	軒数	登録定員	箇所	張数
三根	3	336	31	799	34	1,135	1	80
大賀郷	1	220	32	703	33	923	0	0
檜立	0	0	0	0	0	0	0	0
中之郷	0	0	4	122	4	122	0	0
末吉	0	0	4	67	4	67	0	0
計	4	556	71	1,691	75	2,247	1	80

ホテル 1泊2食付	12,000円くらいから	旅館 1泊2食付	8,000円くらいから
ペンション 1泊2食付	9,000円くらいから	民宿 1泊2食付	8,000円くらいから

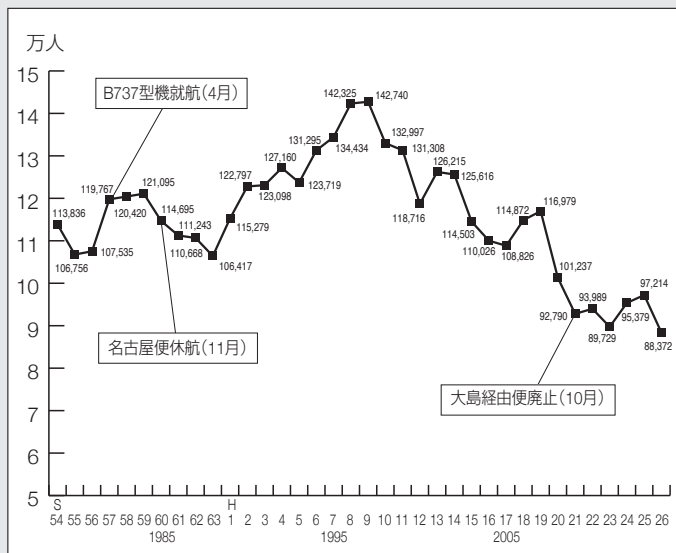
■航路別来島者数の月別推移（平成26年1月～12月）



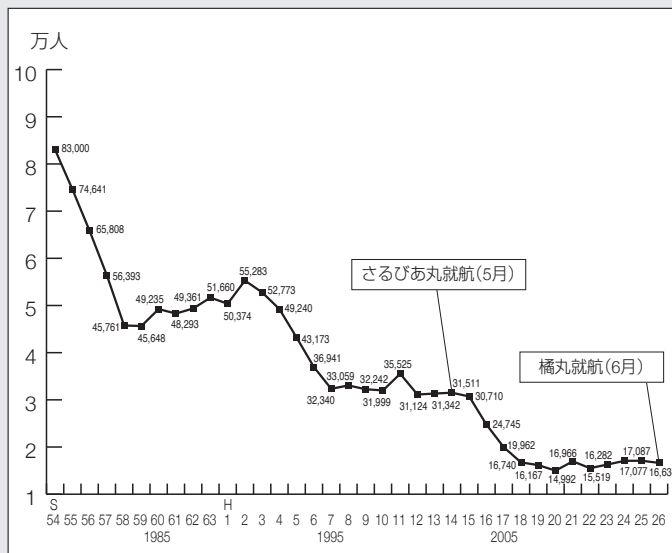
■観光客消費額推計（平成26年1月～12月）



■空路便来島者数の推移



■船便来島者数の推移



保健 HEALTH

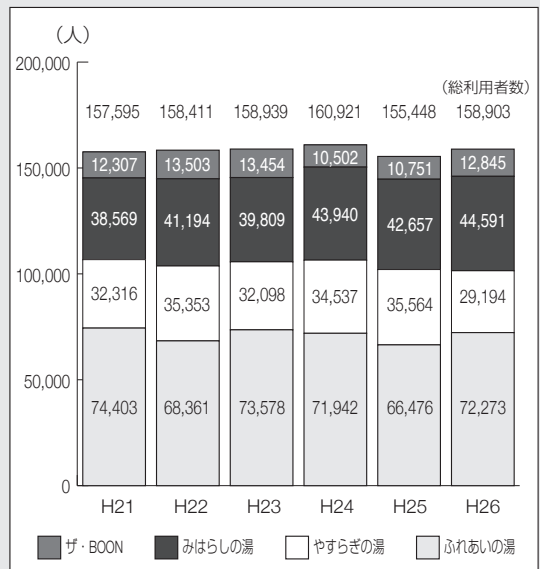
■医療機関などの施設状況 (平成27年4月1日)

町立病院	1箇所
保健所	1箇所
診療所	2箇所
歯科診療所	6箇所
施術所 ・あんまマッサージ ・指圧師 ・はり師 ・柔道整復師	6箇所
薬局	3箇所
薬種商	0箇所
医薬品特例販売店	10箇所
歯科技工所	1箇所

■集団検診数 (平成26年度)

胃がん検診	X線	375人
肺がん検診	X線	851人
	喀痰	115人
大腸がん検診		499人
子宮がん検診	頸部	203人
乳がん検診	マンモグラフィ	196人
	視触診	196人
特定健康、健康診査 (長寿・住民)		895人
骨粗鬆症(こつそしょうしょう)検診		397人
計		3,727人

■温泉利用者数 (平成26年度)



※やすらぎの湯 平成23年1カ月休業

福祉 WELFARE

■高齢人口

(平成27年4月1日)

65歳以上	2,865人		
高齢人口比率	八丈島	東京 (H27.9.15)	全国 (H27.9.15)
	36.93%	22.9%	26.7%

■高齢者祝金の状況

(平成26年度)

	人数	金額
90歳祝金	46人	92万円
100歳祝金	3人	30万円

■介護保険 要介護認定者数

(平成27年4月1日)

要介護度	人数
要支援1	123人
要支援2	66人
要介護1	101人
要介護2	70人
要介護3	79人
要介護4	97人
要介護5	73人
合計	609人

■社会福祉協議会の状況 (平成27年4月1日)

会員数	2,383件	
事業予算	1億3,200万円	
内訳	法人運営事業	2,810万円
	地域福祉事業	1,977万円
	受託事業	1,598万円
	居宅介護事業	6,713万円
	応急小口資金特別会計	101万円
	歳末たすけあい特別会計	1万円

■保育園状況 (平成27年4月1日)

施設数	4箇所	
定員	442人	
実員	217人	
措置率	49.1%	
職員数	33人(保育士 27人・調理員 6人)	
事業費	3億830万5千円	
	国費	0千円
	都費	5,458万1千円
	町費	2億138万5千円
	住民負担	4,722万9千円
	その他	511万円

■児童手当支給状況 (平成26年度)

	児童手当	児童育成手当
受給対象児童数(のべ人数)	8,089	1,858
支給金額	9,014万円	2,518万5千円

■生活保護扶助別実施状況 (平成26年度)

世帯数	176世帯	区別	生活	住宅	教育	介護	医療	生業	葬祭	出産	計
人員	213人	金額	1億756万5千円	3,785万7千円	105万4千円	1,036万9千円	1億6,508万8千円	13万2千円	88万5千円	0円	3億2,295万円

障害者手帳交付状況

(障害の重複あり) (平成27年3月31日)

障害区分	人数
視覚	25人
聴覚	12人
肢体	176人
平衡	1人
言語	8人
そしゃく	0人
内部障害	104人
計	326人

愛の手帳交付状況

(平成27年3月31日)

18歳未満	4人
18歳以上	48人
計	52人

精神障害者保健福祉手帳交付状況

(平成27年3月31日)

交付数	61人
-----	-----

老人クラブの状況

(平成27年4月1日)

クラブ数	20クラブ
会員数(人)	1,095人
クラブ助成金額	610万8千円

国民年金加入状況

(平成27年4月1日)

被保険者数	1,757人
第1号被保険者数	1,363人
第3号被保険者数	371人
任意加入被保険者数	23人

国保保険給付費支払状況

(平成26年度)

高額療養費	一般被保険者分	9,120万2,039円
	退職者被保険者分	391万9,069円
出産育児給付	件数	11件
	金額	462万円
葬祭費	件数	33件
	金額	165万円

後期高齢者医療被保険者証交付状況

(平成27年4月1日)

後期高齢者医療被保険者数	1,429人
--------------	--------

国民年金受給権者数

(平成27年4月1日)

老齢基礎年金	2,350人
老齢年金(旧)	259人
通算老齢年金(旧)	37人
障害基礎年金	134人
遺族基礎年金	7人
障害年金(旧)	7人
寡婦年金	2人
福祉年金の受給権者数	0人
特別障害給付金	1人

国保加入者数と平均保険税額

(平成27年4月1日)

加入者数		平均保険税収額(医療分)	
世帯数(世帯)	被保険者(人)	一世帯あたり	一人あたり
2,160	3,447	78,664	48,629

医療 MEDICAL

町立八丈病院のべ患者数

(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

単位:人

区分	総数	一般診療					臨時診療													
		内科	外科	産婦人科	小児科	計	整形外科	皮膚科	精神神経科	神経内科	耳鼻咽喉科	内分沁内科	循環器内科	泌尿器科	糖尿病内科	腎臓内科	消化器内科	眼科	計	
入院	10,126	7,669	1,839	472	146	10,126														
外来	48,525	19,717	6,845	1,434	7,991	35,987	1,101	1,254	2,866	197	1029	354	69	378	1962	355	103	2,870	12,538	

後期高齢者医療給付の状況

(平成26年度)

区分	受診件数	費用額	保険者負担分	一部負担金
療養の給付等(A)	25,514件	9億3,486万6,252円	8億5,884万9,029円	7,601万7,223円
内訳	入院	879件	4億3,002万6,290円	
	入院外	11,476件	1億9,801万9,670円	
	歯科	3,557件	4,872万6,590円	
	調剤	9,602件	2億3,638万9,300円	
	食事療養	[768]件	2,170万4,402円	
訪問看護	0件	0円		
療養費等(B)	453件	373万2,475円	332万53円	41万2,422円
合計(A+B)	25,967件	9億3,859万8,727円	8億6,216万9,082円	7,642万9,645円

国保医療給付の状況(一般被保険者分)

(平成26年度)

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等(A)	38,871件	49,740日	9億3,477万8,744円	6億7,841万2,238円	2億2,635万1,614円	3,001万4,892円
内訳	入院	708件	9,130日	3億4,779万430円		
	入院外	16,756件	26,344日	2億5,679万6,100円		
	歯科	8,572件	14,221日	8,037万4,930円		
	調剤	12,829件	[16,253枚]	2億3,415万6,870円		
	食事療養	[649]件	[22,590回]	1,524万7,044円		
訪問看護	6件	45日	41万3,370円			
療養費等(B)	1178件		840万4,717円	605万32円	220万7,985円	14万6,700円
合計(A+B)	40,049件		9億4,318万3,461円	6億8,446万2,270円	2億2,855万9,599円	3,016万1,592円

国保医療給付の状況(退職被保険者分)

(平成26年度)

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等(A)	1,322件	1,636日	3,180万7,536円	2,224万5,215円	881万1,287円	75万1,034円
内訳	入院	28件	255日	1,442万3,100円		
	入院外	580件	864日	729万4,510円		
	歯科	315件	517日	265万4,470円		
	調剤	399件	[468枚]	699万8,590円		
	食事療養	[25]件	[617回]	43万6,866円		
訪問看護	0件	0日	0円			
療養費等(B)	26件		10万3,865円	7万2,703円	3万1,162円	0円
合計(A+B)	1,348件		3,191万1,401円	2,231万7,918円	884万2,449円	75万1,034円

■環境衛生施設数 (平成27年4月1日)

区 分	許可件数
総 数	228件
理 容 所	13件
美 容 所	16件
ク リ ー ニ ン グ 所	5件
公 衆 浴 場	8件
ホ テ ル ・ 旅 館 ・ 民 宿 等	94件
興 行 場	2件
プ ール (学 校 プール 含む)	14件
水 道 施 設	17件
小 規 模 貯 水 槽 水 道 等	36件
温 泉 利 用 施 設	10件
墓 地 な ど	6件
特 定 建 築 物 (の べ 床 面 積 3,001㎡ 以上)	7件

■火葬・改葬 (平成26年度)

火 葬	128件
改 葬	7件
計	135件

■水道事業 (平成26年度)

	坂上下水道	坂上簡易水道	全 体
給水人口	6,181人	1,533人	7,714
普及率	100%	97.2%	99.4%

水源取水能力	表 流 水	2,030㎥/日	0㎥/日	2,030㎥/日
	地 下 水	4,230㎥/日	0㎥/日	4,230㎥/日
	湧 水	1,760㎥/日	2,150㎥/日	3,910㎥/日
	計	8,020㎥/日	2,150㎥/日	10,170㎥/日

有収水量	年間有収水量	974,074㎥	236,175㎥	1,210,249㎥
	月平均有収水量	81,173㎥	19,681㎥	100,854㎥
	1日平均有収水量	2,669㎥	647㎥	3,316㎥
	1日1人当たり	423ℓ	415ℓ	421ℓ

給水収益	年間給水収益	2億1,243万8,976円	5,047万2,910円	2億6,291万1,886円
	月平均給水収益	1,770万3,248円	420万6,076円	2,190万9,324円
	1人月平均給水収益	2,803円	2,698円	2,782円
	給 水 栓 数	59,173栓	15,718栓	74,819栓

■ゴミ処理取扱量 (平成26年度)

施 設	機械バッチ燃焼式焼却炉
処 理 能 力	17.00トン (8時間運転×2炉) / 1日
焼却処理総量	3,226.77トン

区 分	町処理収集量	持ち込み処理量
燃えるゴミ	2,199.72トン	1,027.05トン
空き缶	45.13トン	1.02トン
空き瓶	81.10トン	24.02トン
金属ゴミ	44.08トン	52.04トン
有害ゴミ	2.44トン	0.88トン
発泡スチロール	0トン	0トン
小 計	2,372.47トン	1,105.01トン

総 処 理 量	3,477.48トン
---------	------------

■家庭用生ゴミ堆肥化容器貸与実績

(平成26年度)

130ℓ	17件
200ℓ	54件
計	71件

■し尿汲取量 (平成26年度)

総 量		9,627kl
	一 般	7,153kl
	公共施設	2,474kl
一 般 汲 取 件 数		2,412件
公 共 汲 取 件 数		518件

■水道料金 (平成27年4月1日)

口径	装置料金	水 道 料 金			
		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
13mm	380円	1~10㎥	11~20㎥	21~50㎥	51㎥以上
20mm	450円	110円/㎥	145円/㎥	230円/㎥	275円/㎥
25mm	460円	1~50㎥	51~100㎥	101~500㎥	501㎥以上
30mm	550円	335円/㎥	375円/㎥	390円/㎥	400円/㎥
40mm	590円	1~100㎥	101~500㎥	501~5,000㎥	5,001㎥以上
50mm	1,530円	390円/㎥	400円/㎥	415円/㎥	435円/㎥
65mm	1,660円				
75mm	1,900円				
100mm	2,270円				
工事ならびに臨時用	5,800円	480円/㎥			

■小・中学校の状況 (平成27年5月1日)

小学校 3校	児童数：374人
	学級数：20学級
	教員数：45人
中学校 3校	児童数：178人
	学級数：10学級
	教員数：46人

■高等学校の状況 (平成27年5月1日)

生徒数	全日制	157人		
	定時制	8人		
教員・職員数		59人		
卒業生数		73人 (全日制69人・定時制4人)		
卒業後の進路		全日制	定時制	割合
大学短大進学者	30人	29人	1人	41%
専門学校等	18人	17人	1人	25%
就職進学	0人	0人	0人	0%
就職	21人	19人	2人	29%
その他	4人	4人	0人	5%
計	73人	69人	4人	100%

■学校施設の現況 (平成27年5月1日)

学校名	構造	面積 ㎡	教室数		校地面積/㎡		付属建物/㎡
			普通	特別	建物敷地	運動場	
三根小学校	RC3階建	3,980	9	13	6,946	9,102 (芝生5,900含む)	体育館RC=1,088 倉庫S=22
大賀郷小学校	RC3階建	2,645	7	10	5,553	5,798 (芝生2,771含む)	体育館RC=790 電気室S=19、W6 倉庫CB=20、S=22 地域・学校連携施設RC=148
三原小学校	RC2階建	2,179	6	9	3,539	2,436 (芝生2,436含む)	体育館RC=695 倉庫S=22
小学校計	—	8,804	22	32	16,038	17,336	体育館RC=3,223 倉庫CB=58 地域・学校連携施設RC=306
富士中学校	RC2階建 CB	2,220 6	3	13	6,474	17,378 (芝生848含む)	体育館RC=743 倉庫CB=40、S=9
大賀郷中学校	RC2階建 RC平屋	2,008 63	5	8	9,942	6,800	体育館RC=848 倉庫CB=60 地域・学校連携施設RC=150
三原中学校	RC2階建	2,239	3	10	6,135	8,739 (芝生2,731含む)	体育館RC=800 倉庫S=116
中学校計	—	6,536	11	31	22,551	32,917	体育館RC=2,391 倉庫CB=100 倉庫S=116 地域・学校連携施設RC=150
小中学校計	—	15,340	33	63	38,589	50,253	体育館RC=5,614 倉庫CB=158 倉庫S=116 地域・学校連携施設RC=456

(RC=鉄筋コンクリート、CB=コンクリートブロック、S=鉄骨、W=木造)

■共同調理場方式完全給食 (平成26年度)

給食数 (1日)	給食 予定日数 (うち米飯週3回)	給食費用単価 (1食あたり)				
		小学校			中学校	
		低学年	中学年	高学年		
663	190日	236.98円	269.16円	289.92円	331.56円	
平均月額給食費 (11カ月)						
小学校			中学校			
低学年	中学年	高学年				
4,093円	4,649円	4,929円			5,727円	

■学校給食の状況 (平成27年4月)

小学校	3校	児童数	374名
中学校	3校	児童数	178名
計	6校	計	552名
教職員ほか		98名	
給食人員計		650名	

■英会話教室 (平成26年度)

18クラス	137人
-------	------

■婦人会状況 (平成27年4月1日)

	総数	三根	大賀郷	榎立	中之郷	末吉
婦人会員数	543	298	79	52	75	39

■図書館利用状況 (平成26年度)

開館日数		278日	
利用者数	総数		14,774人
	内訳	一般	10,430人
		児童	4,344人
1日平均利用者数		53人	
蔵書数		29,163冊	
視聴覚ライブラリー	ビデオ保有数	36巻	
	DVD保有数	992枚	

■文化財など (平成27年4月1日)

	国指定分	都指定分	町指定分	計
天然記念物	1	0	6	7
有形文化財	1	18	40	59
無形文化財	0	0	0	0
無形民俗文化財	0	3	0	3
史跡・旧跡	0	6	2	8
計	2	27	48	77

地域を定めなくて指定されている国天然記念物	アカコッコ カラスバト イジマムシクイ カムリウミスズメ オカヤドカリ
-----------------------	---

■公民館施設状況 (平成27年4月1日)

公民館名	地番	電話(問合せ先)	完成年度	延床面積	概要
三根	347	04996-2-0349	昭和46年度	560㎡	集会室:200㎡/厨房:23㎡/図書室:33㎡/会議室(和):65㎡/その他:239㎡
大賀郷	3060	04996-2-7071	昭和59年度	746㎡	集会室:253㎡/厨房:60㎡/図書室:30㎡/会議室(和):75㎡/その他:328㎡
榎立	2027	04996-7-0003	昭和50年度	590㎡	集会室:198㎡/厨房:22㎡/図書室:22㎡/会議室(和):99㎡/その他:249㎡
中之郷	2613	04996-7-0002	昭和48年度	564㎡	集会室:201㎡/厨房:24㎡/図書室:24㎡/会議室(和):94㎡/その他:221㎡
末吉	633	04996-8-1003	昭和53年度	614㎡	集会室:242㎡/厨房:26㎡/図書室:20㎡/会議室(和):97㎡/その他:229㎡

■体育施設状況 (平成27年4月1日)

施設名	完成年度	面積	構造	概要
富士グラウンド (富士野球場)	昭和63年度(平成24年度改修)	12,521㎡	内野:混合土 外野:ロングパイル人工芝 外周:砂	バックネット : H=10m L=32m ファウルポール : H=10m ダッグアウト : 鉄骨造 投球練習場 : 1塁側・3塁側各2組 スコアボード : メインスタンド 防球ネット : 1塁側 H10m、 3塁側・ライト側 H7m
富士ゲートボール場	平成2年度	4,483㎡	透水性砂入り人工芝	コート:15.0m×20.0m 3面 休憩所:平屋鉄筋コンクリート造 49.5㎡ 駐車場:アスファルト舗装 469.7㎡
ボウリング場	昭和46年度(平成16年度町へ移管)	347㎡		4レーン
体育館	昭和46年度(平成16年度町へ移管)	599㎡	砂入り人工芝	コート425㎡
テニスコート	平成7年度(平成16年度町へ移管)	1,368㎡	砂入り人工芝	コート2面
榎立屋内運動場	平成3年度(平成19年度所管替)	650㎡	体育館	鉄筋コンクリート
榎立運動場	(平成19年度所管替)	4,450㎡	クレー	
中之郷屋内運動場	昭和62年度(平成19年度所管替)	650㎡	体育館	鉄筋コンクリート
中之郷運動場	(平成19年度所管替)	5,557㎡	クレー	
末吉屋内運動場	平成4年度(平成25年度所管替)	650㎡	体育館	鉄筋コンクリート
末吉運動場	(平成25年度所管替)	4,425㎡	クレー	

■スポーツ・文化活動の状況 (平成26年度)

スポーツ

区分	活動状況
野球	一般軟式リーグ 222人(10チーム):OB(春・秋大会開催)・早朝(リーグ戦開催) 少年 60人 少年学童・二部(春・秋大会開催)
バレーボール	一般 120人(9チーム):春・秋・冬リーグ戦開催 児童 69人(3チーム)
サッカー	一般・児童 216人 (夏・冬リーグ戦、島外チームとの交流大会、ジュニアユース大会等)
バスケットボール	一般 58人(6チーム):春・秋リーグ戦開催 児童 65人(2チーム)
卓球	一般 100人:浅葉杯等各種大会開催 児童 31人
武道	柔道 65人:武道大会等開催 剣道 70人
テニス	硬式 50人:各種大会開催
ソフトボール	産振研ソフトボール大会
マラソン	第34回 パブリックロードレース 参加者:660人 第37回 八丈島駅伝大会 参加:221人(30チーム)
町民体育大会	島内5地域で実施
ゲートボール	島内各地域愛好者 133人

文化活動

八丈島 サマーコンサート	記念コンサート 出演者:牟田久壽、Duo×Duet(柴田真由美・高木太郎・服部慶子・北門郁子)
八丈町多目的ホール 「おじゃれ」運営委員会	八丈島JAZZフェスティバル2014・映画上映会(2回) ミュージカル?桃太郎と不思議なキノコ
八丈島 市民大学講座	講演「文様の幾何」…大学准教授:小林正典(首都大学東京) 講演「アメフラシの脳科学」…大学准教授:黒川信(首都大学東京) 講演「シェイクスピア劇の翻訳」…翻訳家・演劇評論家:松岡和子
八丈島 文化協会事業	八丈島文化協会 八丈島文化協会 八丈島文化協会 八丈島文化協会
八丈島 おやこ劇場	舞台公演「風の子バザール」…出演:劇団風の子東京 舞台公演「長靴をはいた猫」…出演:劇団かかし座 映画鑑賞会「ウォーキングWithダイナソー」 1日冒険あそび場・体験ワークショップ
八丈島 文化祭	島内文化団体による公演…出演団体:16団体 場所:八丈町多目的ホール「おじゃれ」 島外ゲスト、島内伝統芸能とダンスのコラボ公演等 …島外ゲスト:津軽三味線(鳴海昭人)、ダンサー(KATSU)、佐渡おけさ(直江津民謡保存会)、 …島内出演:八丈太鼓六人会、榎立踊り保存会、民謡保存会、D→CREW他
婦人学級	太鼓教室、料理教室、着付教室、草木寄せ植え教室、ゲートボール教室等

■八丈島歴史民俗資料館 (平成26年度)

昭和50年5月に開館、館内には流人文化を中心とした資料が数多く展示され、八丈の人々や流人の生活を雄弁に物語ってくれる資料、昔使われた生活用具や農耕具、漁具、機織具などのほか、先史時代の石器、古文書、伊万里、瀬戸などの陶器類、羅漢像、八丈の伝説をしのばせてくれる為朝の鎧など展示品は約1,500点にのぼります。

開館	1975年5月1日(昭和50年)
展示品	考古関係:約345点/民俗関係:約1,000点/ 歴史関係:約50点/その他:105点
総数	約1,500点
入館者数	11,401人

■八丈島地熱館 (平成26年度)

開館	2013年8月31日 (平成25年)
入館者数	7,187人
企画展	「食虫植物を見てみよう」 「電気ってどうやってできるの?」 「夏休み自由研究応援企画 教えて!地熱発電」 「夏休み自由研究応援企画 教えて!食虫植物」 「生き物に学ぶECO技術」 「水とエネルギー」 「ポットホルルのふしぎ」 「電気ってどうやってできるの? Vol.2」

■町営バス運行実績

(平成26年度)

走行距離	一般乗合	128,286km	85.7%
	観光貸切	21,442km	14.3%
	総 数	149,728km	100%

輸送人員	一般乗合	84,419人	80.8%
	観光貸切	20,079人	19.2%
	総 数	104,498人	100%

収入金額	一般乗合	1,376万1,332円	29.9%
	観光貸切	3,219万878円	70.1%
	総 数	4,595万2,210円	100%

■車両台数 (平成26年度)

種 類	乗車定員	台 数
大型バス	52人乗り	1台
	49人乗り	1台
	49人乗り	1台
中型バス	59人乗り	1台
	53人乗り	1台
	46人乗り	1台
	42人乗り	1台
	35人乗り	1台
	31人乗り	1台
バス車両台数合計		9台
路 線 数		9系

■観光バス貸切料金 (平成27年度)

	大型バス (34名以上)	中型バス (21~33名)	中型割引 (1~20名)
1 周 コース	101,952円	90,720円	78,732円
半 周 コース	65,664円	58,320円	50,544円
送 迎	27,475円	23,760円	23,760円

■八丈島内郵便局の状況 (平成27年 4月 1日)

集 配 局	三根、中之郷	2局
無 集 配 局	八丈島、榎立、末吉	3局
簡 易 局	三根川向	1局

■自動車台数 (平成27年 4月 1日)

自動車台数8,178台/人口7,757人	自動車台数8,178台/世帯数4,404世帯
1.05台/住民1人あたり	1.86台/1世帯あたり

車 種	台 数	管 轄
普通車・その他	2,899台	自動車検査登録情報協会
軽自動車	4,455台	八丈町
二 輪 車	94台	八丈町(軽二輪)
	87台	自動車検査登録情報協会(小型二輪)
原付自転車	643台	八丈町
計	8,178台	

■航空貨物取り扱い高

(平成26年 1月~12月)

移 出	905トン	移 入	342トン
-----	-------	-----	-------

■タクシー台数

(平成27年10月 1日現在)

タクシー業者数	12業者	29台
(うち1台で営業している業者)	7業者	
ジャンボタクシー使用業者	4業者	4台
福祉タクシー使用業者	2業者	2台

■トラック台数

(平成27年 4月 1日)

総 業 者 数	11業者
トラック台数	90台

■テレビ放送

NHK三原山サテライト局	昭和40年12月26日開局
民放テレビ放送	昭和45年11月12日開局
テレビ東京放送	昭和58年11月29日開局
東京メトロポリタンテレビジョン	平成7年11月1日開局
八丈デジタル中継局	平成21年3月3日開局
末吉デジタル中継局	平成22年11月1日開局
洞輪沢デジタル中継局	平成22年11月1日開局

■海上貨物取り扱い高

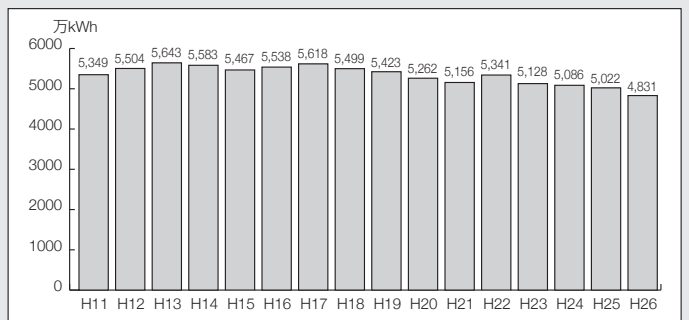
(平成26年 1月~12月)

分 類	品 名	移出 (t)	移入 (t)
農水産品	米・雑穀・豆	1	387
	野菜・果物	77	2,373
	その他農産品	3,342	24
	畜産品	47	0
	水産品	2,367	4
林産品	林産物	1,224	862
	砂利・砂	0	51,756
鉱産物	石	0	1,838
	石灰石	0	12,280
	その他非金属鉱物	0	0
金属機械工業品	完成自動車	1,000	4,056
	鋼材・鉄鋼	1,549	6,259
	金属製品	4	3,198
	産業機械	325	720
	その他機械・部品	11	14
	セメント	0	7,536
化学工業品	LPG(液化石油ガス)	0	3,290
	その他窯業品	0	2,983
	重油	750	10,772
	石油製品	13	6,484
	化学肥料	1	0
軽工業品	塗料・その他化学工業品	2	78
	飲料	410	2,094
	製造食品	200	6,304
	その他・食料工業品	2	2
雑工業品	紙・パルプ	0	0
	日用品	826	3,115
	他に分類されない木製品	1	0
特殊品	金属くず	0	814
	動植物性製造飼肥料	0	948
	廃棄物	4,816	0
	輸送用容器	10,460	6,403
	再利用資材	0	75
	取り合わせ品	2,506	13,141
	分類不能のもの	19	16
合 計		29,953	147,826

■電力の状況 (平成26年度)

内 燃 力 発 電 認 可 出 力	11,100kW	
地 熱 発 電 認 可 出 力	3,300kW	
日 最 大 電 力	9,484kW (平成26年8月18日)	
燃 料 A 重 油	年間消費量	9,549kL
	平均	26.2kL/日
年 間 発 電 電 力 量	4,831万kWh (うち地熱 1,125万kWh)	

■発電量の推移



■八丈都市計画区域

昭和47年2月22日付東京都知事に申請
昭和48年1月5日に八丈小島を除く全域を都市計画区域（区域区分非設定）に指定

■横間道路改修工事

通称横間道路（都道215号線の一部）は、為朝神社からトンネル入り口までの延長1,325mです。

この道路は八丈島の坂上地域と坂下地域を結ぶ大動脈であり、島内の経済活動及び、日常生活には欠くことのできない道路です。

昭和56年から総工費約61億円をかけ、地形に合わせて盛土、橋りょう、栈道、洞門の各形式をとりながら本格改修工事に着手しました。13年間の年月をかけ、平成6年4月21日に安全で快適な道路として全線開通しました。

■都道と町道（平成27年4月1日）

区分	都道	町道
延長	58,259m	434,189m
面積	600,065㎡	1,505,838㎡
舗装率	100%	60.01%

■公園と児童遊園地（平成27年4月1日）

施設名	管理者	面積	備考
東京都立八丈植物公園	東京都	224,068㎡	散歩、休息、遊戯、鑑賞
底土園地	東京都	987㎡	散歩、休息、遊戯
底土野営場	東京都	13,145㎡	野営、炊事、休息
南原園地	東京都	8,600㎡	散歩、休息
大湯浦園地	東京都	12,232㎡	散歩、休息、遊戯
登龍園地	東京都	1,851㎡	散歩、休息
大賀郷園地	東京都	48,448㎡	散歩、休息、遊戯
護神山公園（護神山緑地）	八丈町	12,438㎡	都市計画緑地、散歩、休息
底土海浜公園	八丈町	14,720㎡	都市計画公園、散歩、休息
八丈プラザ公園	八丈町	26,016㎡	都市計画公園、散歩、休息
南原スポーツ公園	八丈町	59,797㎡	都市公園、サッカー場、野球場
神湊児童遊園地	八丈町	1,447㎡	散歩、休息、遊戯
稲葉児童遊園地	八丈町	2,221㎡	散歩、休息、遊戯
八重根児童遊園地	八丈町	818㎡	散歩、休息、遊戯
大里児童遊園地	八丈町	730㎡	散歩、休息、遊戯
榎立児童遊園地	八丈町	968㎡	散歩、休息、遊戯

■港湾施設（平成27年4月1日）

種類	港名	管理者 設立年月日	対象船舶	港湾施設						備考
				岸壁 （-6.0～ -7.5m）	船客 待合所	輸送管 設備	夜間荷役 照明	船揚場	荷捌用地	
地方港湾	神湊港 （底土港）	東京都 昭和28.3.31	小型船 500t～5,000t	310m	一棟	一式	一式	1,320㎡	11,270㎡	神湊港（底土）船客待合所 平成26年7月1日 供用開始
	八重根港	東京都 昭和28.3.31	500t～5,000t	230m	一棟	—	—	—	1,399㎡	八重根港船客待合所 平成24年2月1日 供用開始
避難港	洞輪沢港									昭和29年7月2日指定

■都市計画道路（平成26年4月1日現在）

八丈都市計画道路3・4・1号底土・空港・八重根線		
延長	約7,352m	
幅員	18m	
交通広場	（底土）	約6,600㎡
	（八重根）	約5,200㎡
都市計画決定	S54. 3. 29	
延伸決定	H1. 3. 20	

	事業認可	認可区間	工事完成
第1期区間	S55. 1. 16	空港～倉の坂交差点 2,062m	S61年度
第2期区間	S61. 6. 19	倉の坂交差点～底土交通広場 1,690m	H11年度
第3期区間	H1. 10. 25	八重根交通広場～西見交差点 1,960m	H15年度
第4期区間	H7. 3. 1	西見交差点～空港 1,640m	H23年度

■八丈島空港の施設状況（平成27年4月1日）

種別	地方管理空港	
供用開始	昭和37年5月1日	
政令指定	昭和33年12月25日	
空港の位置	北緯	33°06'54"
	東経	139°47'09"
	標高	91.7m
飛行場用地	総面積	763,241㎡（場内道路含む）
	国有地	336,087㎡
	都所有地	427,154㎡
対象機種		エアバス320-200
		ボーイング737-800
		ボーイング737-700

基本施設	滑走路	着陸帯	誘導路	エプロン
	延長 2,000m 幅員 45m SIWL 24t （舗装厚 30cm）	延長 2,120m 幅員 150m	延長 85m 幅員 23m	面積 15,300㎡ B737型用 3バース
ターミナルビル	照明施設			
3階建 3975.44㎡ （延床面積）	進入角指示灯：8基 簡易式進入灯：7箇所 進入路指示灯：11基 風向灯：2基 エプロン灯：4基			

■町営住宅の現況 (平成27年4月1日)

地域	団地名	戸数	構造	間取り別戸数内訳		
				1K, 1DK, 1LDK	2K, 2DK, 2LDK	3K, 3DK, 3LDK
三根	郡ヶ平団地	12	簡耐		12	
	群ヶ平第2団地	16	耐火			16
	中道団地	60	簡・耐	9	23	28
	富士見団地	23	耐火	5	10	8
	神湊第1団地	24	耐火	24		
	神湊第3団地	23	耐火	11	6	6
	桜平団地	29	耐火	13	8	8
	新道団地	12	耐火	2	8	2
丘里団地	16	耐火		12	4	
小計	9団地	215		64	79	72
大賀郷	原山団地	12	耐火		6	6
	八蔵団地	54	耐火	6		48
	寺山団地	38	耐火	11	7	20
	八重根団地	12	耐火	12		
小計	4団地	116		29	13	74
樫立	湯浜団地	8	簡耐			8
	康政里住宅	2	木造			2
	東六里住宅	6	木造			6
	康政里第2住宅	6	木造			6
	江能里住宅	3	木造			3
小計	5団地	25		0	0	25
中之郷	上浦団地	8	簡耐			8
	中之郷団地	15	耐火	5	2	8
	粥倉住宅	2	木造			2
	粥倉第2住宅	2	木造			2
	藍ヶ里住宅	4	木造			4
	尾越住宅	2	木造			2
	尾越第2住宅	4	木造			4
	中里住宅	2	木造			2
	三原住宅	4	木造			4
	三原第2住宅	1	木造			1
	藍ヶ江住宅	2	木造			2
上浦住宅	2	木造			2	
小計	12団地	48		5	2	41
末吉	末吉団地	8	耐火	2	2	4
	瀬戸団地	15	耐火	8	2	5
	神子尾住宅	2	木造			2
	道ヶ沢住宅	2	木造			2
	名古屋住宅	2	木造			2
小計	5団地	29		10	4	15
合計	35団地	433		108	98	227

■警察署の概要 (平成27年4月1日)

本署	1力所	32人
駐在所	6力所	6人
警察職員数計		38人

■少年事案取り扱い件数 (刑法犯のみ)

罪種	平成26年
粗暴犯	0件
窃盗	0件
その他 特別法犯	0件
計	0件

■民有家屋などの棟数

(固定資産課税台帳調べ：平成27年1月1日)

() 内は1棟当たりの平均床面積 m²

区分	木造	木造以外	総数
個人	3,971棟 (80.6)	1,078棟 (107.7)	5,049棟 (86.3)
法人	173棟 (88.8)	391棟 (237.6)	564棟 (196.0)
合計	4,144棟 (80.9)	1,469棟 (142.7)	5,613棟 (97.1)

■消防団などの状況 (平成27年4月1日)

消防団	246人	(本部1分団・5分団)
消防本部	23人	(職員)

■消防団団員数 (平成27年4月1日)

地区別	区分							計
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
本部	1	2			1	1	14	19
三根			1	1	7	20	40	69
大賀郷			1	1	6	19	28	55
樫立			1	1	4	10	18	34
中之郷			1	1	5	12	27	46
末吉			1	1	4	7	10	23
総数	1	2	5	5	27	69	137	246

■消防施設など (平成27年4月1日)

区分	地区別	三根	大賀郷	樫立	中之郷	末吉	総数
		防火水槽	40m ² 以上	65	63	21	
	40m ² 未満	4	14	1	4	2	25
消火栓		6	7	1	6	0	20
詰所		1	1	1	1	1	5
分所		1	0	0	0	0	1
器具置場		1	0	0	0	1	2

■消防車両の状況

(平成27年4月1日)

消防ポンプ自動車	7台
司令車・指揮車	2台
照明電源車	2台
救急車	2台

■原因別救急出動件数

(平成26年度)

急病	267件
一般負傷	67件
交通事故	24件
労働災害	3件
水難	1件
加害	0件
運動競技	3件
自損行為	7件
その他	62件
計	434件

■犯罪件数

年次	凶悪犯	粗暴犯	盗犯	知能犯	その他	総数
平成26年	2件	2件	13件	2件	5件	24件

■平成26年中の交通事故件数

総数	130件
そのうち、飲酒が原因のもの	1件

■普通会計

普通会計決算（純計）（平成26年度）

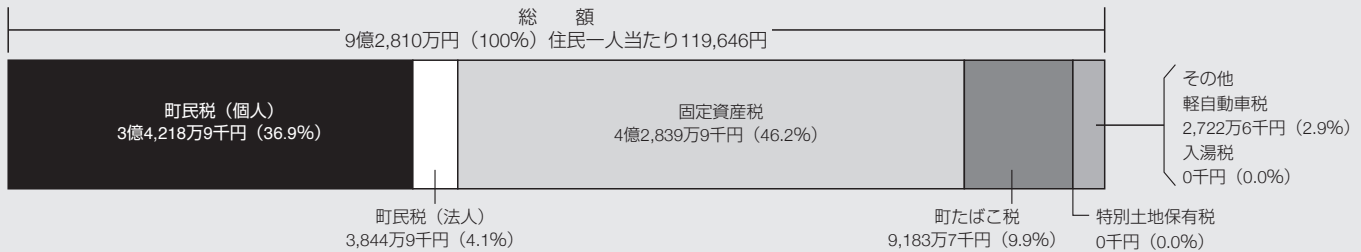
決算収支の状況	歳入総額 A	74億3,895万円
	歳出総額 B	73億6,585万4千円
	歳入歳出差引額 (A-B) C	7,309万6千円
	翌年度へ繰越すべき財源 D	1,053万8千円
	実質収支 (C-D) E	6,255万8千円
	単年度収支 F	-6,002万7千円
	積立金 G	1,400万円
	繰上償還額 H	0円
	積立金取崩額 I	0円
	実質単年度収支 (F+G+H-I) J	-4,602万7千円
指数等	基準財政需要額	29億5,733万5千円
	基準財政収入額	9億1,326万8千円
	標準財政規模	34億438万円
	財政力指数	0.307 単年度 (0.309)
	経常収支比率	91.4%

■企業会計決算

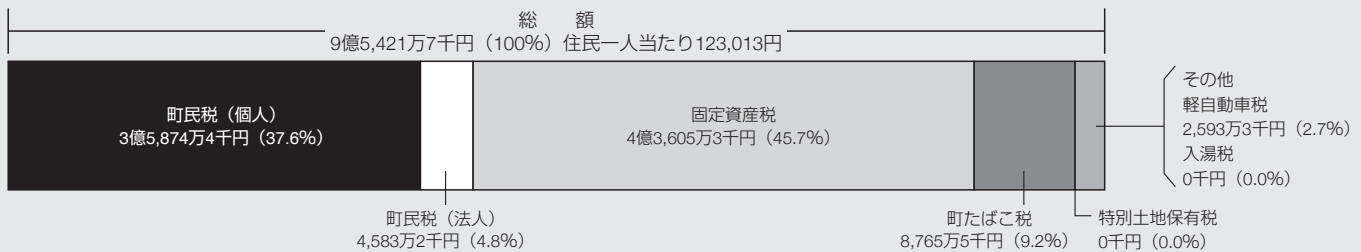
（平成26年度）

会計別	総収益	総費用	当年度純利益(損失)
水道事業計 水会	4億1,167万4千円	4億4,569万7千円	-3,402万3千円
一般旅客自動車 運送事業計 会	1億4,120万7千円	1億4,416万2千円	-295万5千円
病院事業計 会	14億586万6千円	14億2,520万円	-1,933万4千円

■税目別町税収入見込額（平成27年度）



■税目別町税収入決算額（平成26年度）

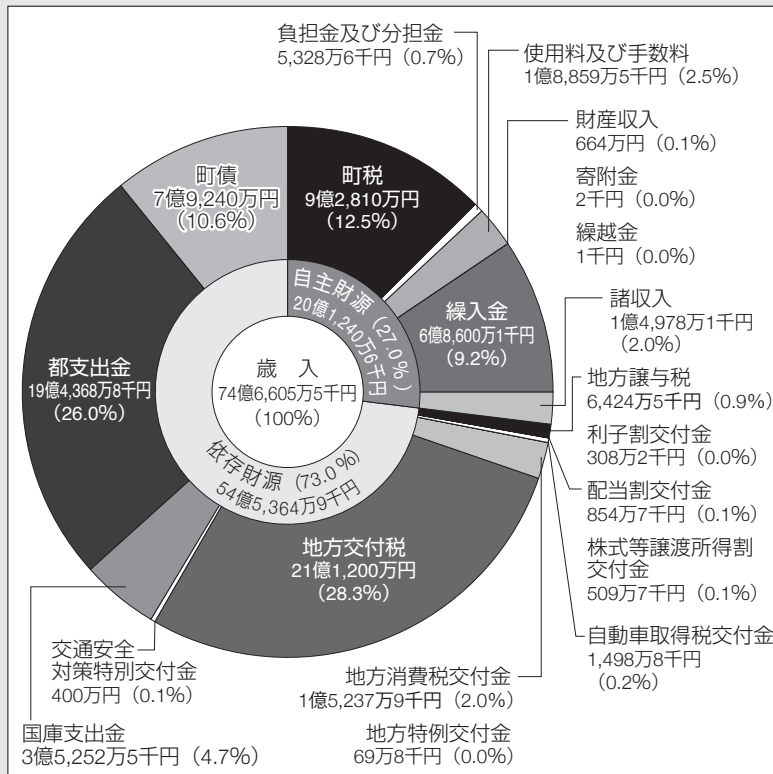


■平成27年度当初予算（平成27年度）

総額 129億8,518万8千円（100%）

一般会計 74億6,605万5千円 (57.5%)	特別会計 28億2,879万3千円 (21.8%)	企業会計 26億9,034万円 (20.7%)
---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------

■一般会計歳入予算額（当初予算）（平成27年度）



※%は、少数点2位を四捨五入

■特別会計（当初予算）（平成27年度）

介護保険	9億9,153万3千円
国民健康保険	15億4,383万8千円
用品	318万1千円
後期高齢者医療	1億9,072万2千円
浄化槽設置管理事業	9,951万9千円

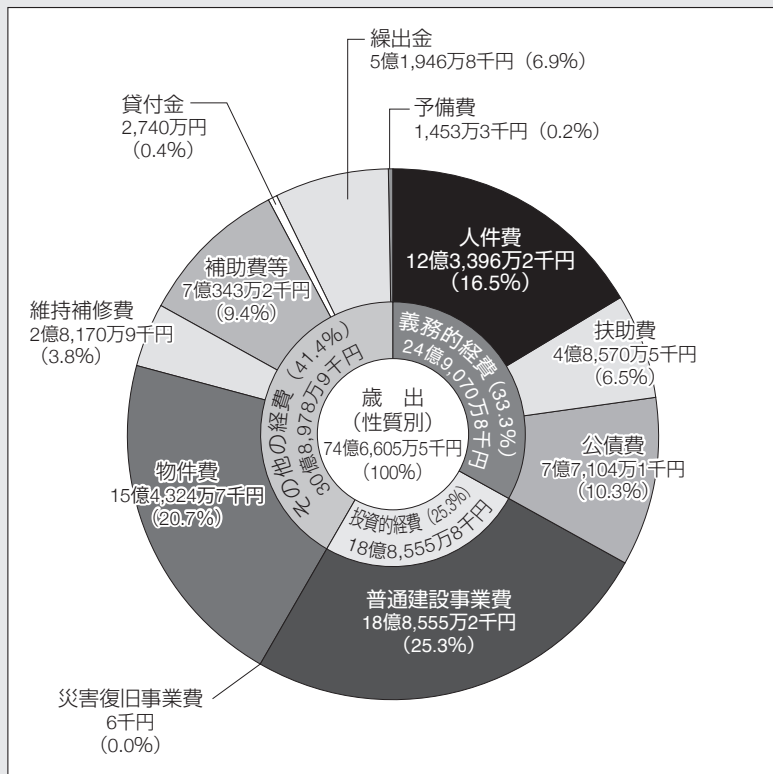
（一部公営企業会計適用）

■企業会計予算額（当初予算）

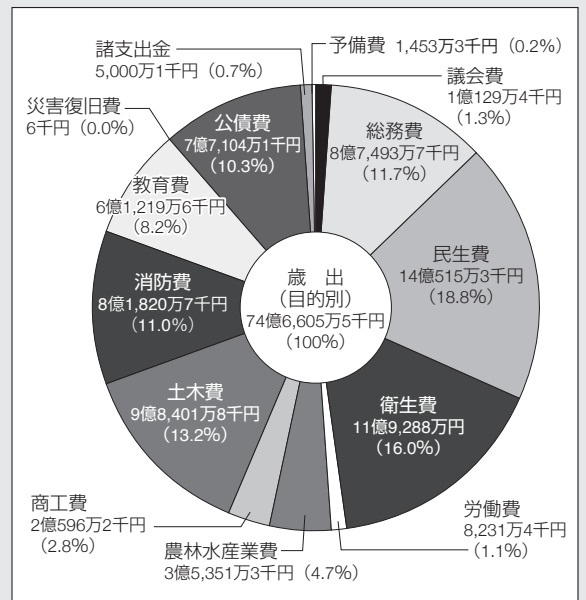
（平成27年度）

水道事業	9億5,128万8千円
一般旅客自動車運送事業	1億6,491万1千円
病院事業	15億7,414万1千円

■一般会計歳出予算額（当初予算）（平成27年度）



※%は、少数点2位を四捨五入



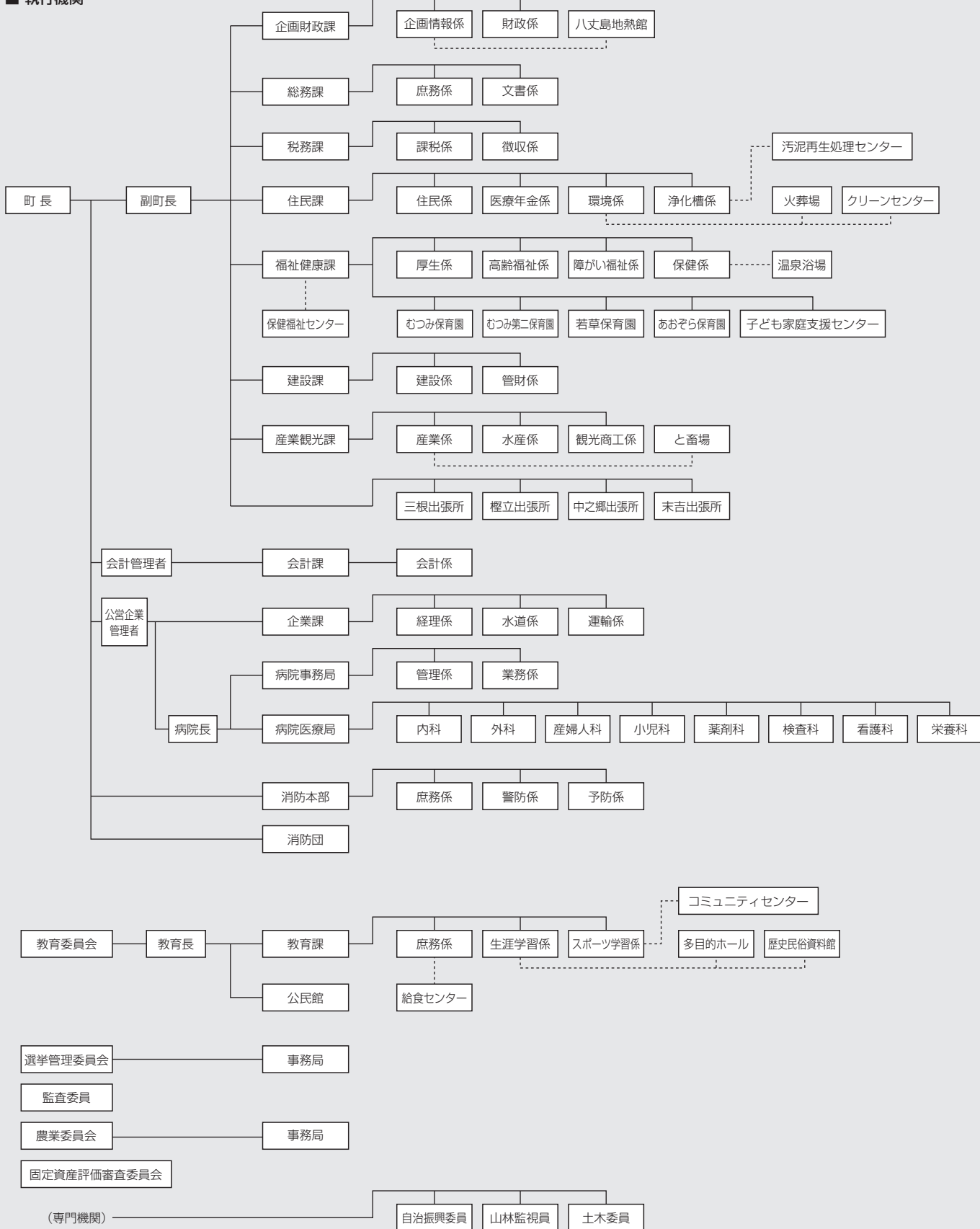
※%は、少数点2位を四捨五入

■八丈町機構図（平成27年度） 平成27年4月1日現在

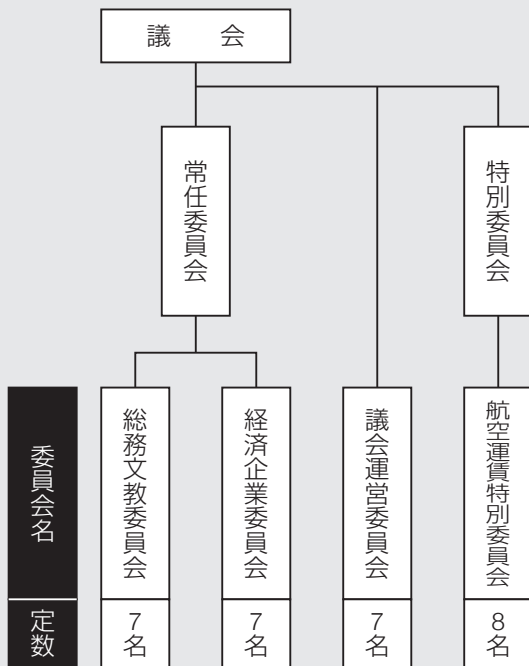
■ 議決機関



■ 執行機関



■議会構成 (平成27年11月1日)



■党派別議員数 (平成27年11月1日)

党派	人数
自由民主党	3名
公明党	2名
共産党	1名
無所属	8名
計	14名

■町議会会議開催状況 (平成26年)

会議名		回数
本会議	定例会	4回
	臨時会	2回
総務文教委員会 (協議会を含む)		1回
経済企業委員会 (協議会を含む)		1回
議会運営委員会 (協議会を含む)		5回
全員協議会		3回

■町長提出付議事件件数 (平成26年)

		原案可決	修正可決	否決	継続審査	審議未了	撤回
地方自治法第96条1項議決事件	条例 (1号)	27	0	0	0	0	0
	予算 (2号)	41	0	0	0	0	0
	決算 (3号)	9	0	0	0	0	0
	4号から14号までの議案	11	0	0	0	0	0
地方自治法第96条1項15号及び96条2項を含むその他全ての議案		18	0	0	0	0	0
専決処分議案 (地方自治法第179条)		10	0	0	0	0	0

歴史のあけぼの

八丈島の古代については、考古学会でも無人島であったとされてきましたが、昭和37年夏、樫立で三原中学校の生徒が磨製石斧を発見したことがきっかけとなって湯浜遺跡の調査が始められました。昭和52年には、倉輪遺跡が発見され、人骨や装飾品なども出土しました。これらの遺跡調査から次のことが明らかになりました。①八丈島には6,500年ほど前には人が住んでいたが、ずっと住み続けていたわけではない。②遺跡の規模、神津島産の黒曜石の矢じり、本土から持ち込まれた縄文式土器、丸木舟を作ったと思われる石器などが出土していることから、人々は島伝いに移って来てまた移り去ったか、あるいは死に絶えた。③水が近くにあり、木の実や山芋、魚・貝・鳥などを入手し易い場所に住居を構えていた。また、倉輪遺跡時代に犬や猪の骨が多く出土していることから、以前に持ち込んだ猪が増え、狩りをしていただのではないかと考えられる。

鎌倉から江戸時代まで

八丈島が本土の支配下に置かれたのは、東鑑によれば鎌倉時代の1186年（文治2年）で相模の国に属したとされています。また、統治機関が置かれたのは、室町時代の1338年（延元3年）、足利氏の執事上杉憲顕が奥山伊賀と菊池治五郎を代官として在島させたのが最初とみられます。1440年（永享12年）に神奈川の領主奥山宗林が支配したが、15世紀の末期、三浦・北条氏の勢力が入って以来、三氏の抗争が続き1515年（永正12年）になって北条氏が勝利を得、全島を支配するに至りました。この権力争いの原因は八丈島特産の貢租「黄八丈」にあったと見られています。その後、1604年（慶長9年）から明治に至るまで徳川幕府の支配下が続きましたがこの間、しばしば天災地変・飢饉・悪疫に襲われており、島民の生活は厳しく、苦しいものでした。また、この265年間に約1,900人の罪人が流されてきました。

明治以降の八丈島

明治3年に葦山県、同4年に足柄県、同9年静岡県在所管となり、同11年1月11日に東京府に属して以来東京都の今日に及んでいます。明治41年に八丈本島の5ヶ所に島嶼町村制が施行されたが、小島の2ヶ村には施行されず、昭和22年10月の地方自治法施行まで名主制度が続きました。

THE DAWN OF HISTORY

Although archaeological societies considered Hachijo to be an uninhabited island in ancient times, in the summer of 1962, starting with the discovery of a polished stone ax by a student of Mihara Junior High School, a survey of the Yubama ruins began. In 1977, the Kurawa ruins were discovered, and human bones and ornaments were dug up. The following were made clear from these ruins surveys.

① Although people were living in Hachijojima about 6,500 years ago, they did not remain on the island continuously. ② People either came and left by way of the other islands, or they simply passed away. Support for the aforementioned come from the scale of the ruins, obsidian arrowheads that are Kozushima-made, Jomon earthenware from the mainland, and stone implements thought to be used to make canoes. ③ Houses were built in good locations due to the water being nearby and the ease of obtaining things such as fruits, potatoes, fish, shellfish, and birds. Also, it is thought that wild boar, which flourished when brought to the island, was hunted because of the numerous boar and dog bones found at the Kurawa ruins.

FROM THE KAMAKURA PERIOD TO THE EDO ERA

According to the Azumakagami=Hachijojima came under the control of the mainland in 1186, during the Kamakura period (1185-1333), and was classified as a part of Sagami-no-kuni [the present Kanagawa Prefecture]. The first permanent placement of government officials on the island is thought to have occurred in 1338, during the Muromachi period (1336-1573), when Ashikaga vassal Uesugi Noriaki dispatched envoys Okuyama Iga and Kikuchi Jigoro. In 1440, Okuyama Sorin — a major landholder in Kanagawa — controlled Hachijo, but in the latter part of the 15th century the island was enveloped in a three-way struggle for control. Competing with Okuyama were Miura Dosun of Sagami, and Hojo Soun of Odawara. The struggle continued until 1515, when Hojo emerged victorious and brought the entire island under his control. The origin of this rivalry is thought to have been kihachijo = a silk product unique to Hachijojima and used for payment of taxes. Later, from 1604 to the beginning of the Meiji period (1868-1912), the island was under the jurisdiction of the Tokugawa shogunate. It was during this period that nearly 2000 people were exiled to Hachijojima for various crimes, leading to the island's reputation as an "exile island." It was also during this time that islanders were subjected to a number of natural disasters, famines, and plagues; life on Hachijo was bitter and harsh.

HACHIJOJIMA FROM MEIJI ON

In 1869 Hachijo was placed under the jurisdiction of Sagami Prefecture, bringing into being the villages of Mitsune, Okago, Kashitate, Nakanogo, and Sueyoshi on Hachijojima, and those of Utsuki and Toriuchi on Hachijo-Kojima [the islet just off the coast of Hachijojima]. Over the next ten years various prefectures held sway over Hachijojima: Nirayama (1870); Ashigara (1871); Shizuoka (1876); and Tokyo (Jan. 11, 1878), under the jurisdiction of which it has since remained.

The 1908 Islands, Towns, and Villages Ordinance was implemented in the five villages of Hachijojima, but not on Hachijo-Kojima, where the village-head system of government continued until promulgation of the Local Government Act in October 1947.

八丈町の成立

昭和29年10月1日、町村合併促進法により三根、檜立、中之郷、末吉、鳥打の各村が合併して「八丈村」に、翌30年4月1日、八丈、大賀郷、宇津木の各村が合併して「八丈町」が誕生し、今日に及んでいます。

八丈小島の引き揚げ

昭和29、30年の合併により八丈町が誕生しました。このころ小島は、生活条件は向上したものの、その後は過疎化が激しく生活水準の格差も増し、高齢化が進み、開発計画も行き詰まり、住民もついに100名を割ってしまいました。このようななかで全員離島の話が持ちあがり、昭和41年3月全員離島を訴え、八丈町議会に請願書を提出しました。

請願を受けた町議会は、昭和41年6月20日、小島の実情調査を行い、同月22日にこれを採択しました。

請願内容を要約すると、

1. 電話・水道・医療の施設がない
2. 生活水準格差の増大
3. 人口過疎の傾向が甚大である
4. 子弟の教育のあい路

これにより、昭和44年1月より都の援助で全員が引き揚げ無人島となりました。

離島までの経緯

昭和41年	3月	小島住民全員離島決意、八丈町議会に対し、「移住促進、助成に関する請願書」提出
	6月	八丈町議会「請願」採択
	7月	八丈町議会、小島引き揚げ対策協議会設置
昭和42年	9月	八丈町対都「八丈小島住民の全員離島の実施に伴う八丈町に対する援助」陳情
昭和43年	10月	土地買収価格（在住者坪当たり93円、不在者60円）などについて、住民との協議成立
昭和44年	1月	離島開始
	6月	鳥打小・中学校、宇津木小・中学校廃校全員離島する。 24世帯 人口91人

THE BIRTH OF THE MUNICIPALITY OF HACHIJŌ

On Oct. 1, 1954, under the provisions of the Towns and Villages Amalgamation Act, the villages of Mitsune, Kashitate, Nakanogo, Sueyoshi, and Toriuchi were combined into the Village of Hachijo, which on April 1, 1955 was combined with the villages of Okago and Utsuki to create the present Town of Hachijo.

RELOCATION FROM HACHIJŌ-KOJIMA


Although living conditions on Hachijo-Kojima had improved around the time of the 1954-55 incorporations, the island later suffered from severe depopulation, a decline in the standard of living, an aging population, and deadlocked development plans. Eventually there were fewer than 100 people living on the island, and talk of relocating residents increased. In March 1966 all residents petitioned the Hachijo Town Council for relocation, and on June 20 the council conducted a survey of Hachijo-Kojima; on June 22 the residents' petition was accepted. The petition cited the following factors in requesting relocation:

1. Lack of telephone, water, and medical facilities.
2. An increased disparity in living standards.
3. An increased tendency toward depopulation.
4. The education bottleneck.

Based on the above, in January 1969 all residents were evacuated with assistance from the Tokyo metropolitan government, leaving Hachijo-Kojima deserted.

Steps to relocation

1966	March	Residents opt for relocation, and submit "A Petition Regarding Aid for and Expedition of Relocation" to Hachijo Town Council.
	June July	Hachijo Town Council adopts the petition. Hachijo Town Council establishes the "Kojima Relocation Policy Committee."
1967	September	Hachijo petitions the Tokyo Metropolitan Government regarding "Aid to the Town of Hachijo Coinciding with Implementation of the Relocation of All Residents of Hachijo-Kojima."
1968	October	Creation of residents' conference on land prices, etc. (Land was purchased from residents for ¥28.1/m ² , and from non-residents for ¥18.1/m ² .)
1969	January	Relocation process begins.
	June	Toriuchi and Utsuki elementary and junior high schools closed. All residents leave the island (24 households/91 people).



東京都八丈町勢要覧
「はちじょう2015」
資料編

平成28年3月 印刷・発行

編集・発行：八丈町企画財政課企画情報係
東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2
電話 04996-2-1120
URL <http://www.town.hachijo.tokyo.jp/>

印刷：明誠企画株式会社
東京都武蔵村山市榎2-25-5
電話 042-567-6233 (代)